

2006年上半期 [1月～6月] 不正アクセス届出状況

独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA 理事長:藤原 武平太)は、2006年上半期 [1月～6月]のコンピュータ不正アクセスの届出状況をまとめました。

2006年上半期の届出状況から、最近の傾向としては、

- SSHで使用するポートへの攻撃が多い
- サーバに侵入され、他サーバへの攻撃の踏み台に使われる被害が多い

と言えます。以下のサイトを参考にコンピュータセキュリティ設定の徹底及び日常の運用管理によるセキュリティ対策を継続するよう心がけてください。

- 情報セキュリティ対策実践情報 エンドユーザ・ホームユーザ向け

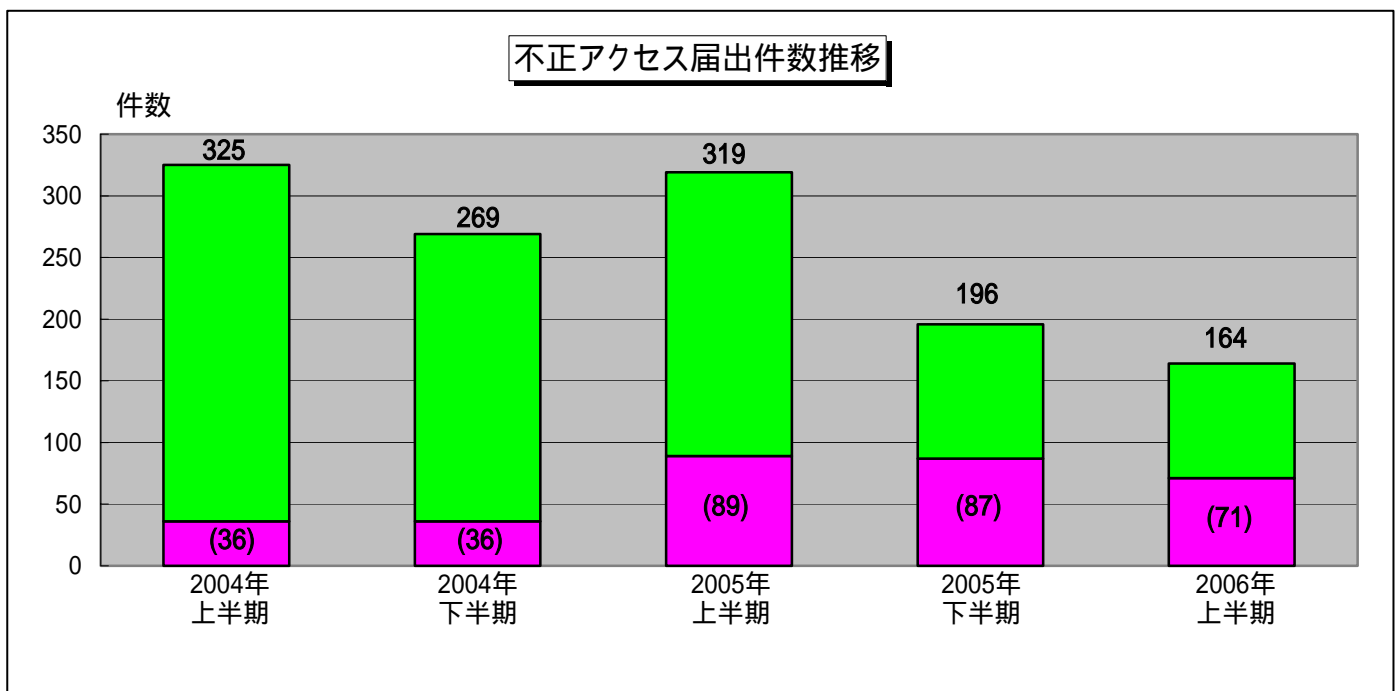
<http://www.ipa.go.jp/security/awareness/end-users/end-users.html>

- 情報セキュリティ対策実践情報 システム管理者向け

<http://www.ipa.go.jp/security/awareness/administrator/administrator.html>

1. 届出件数

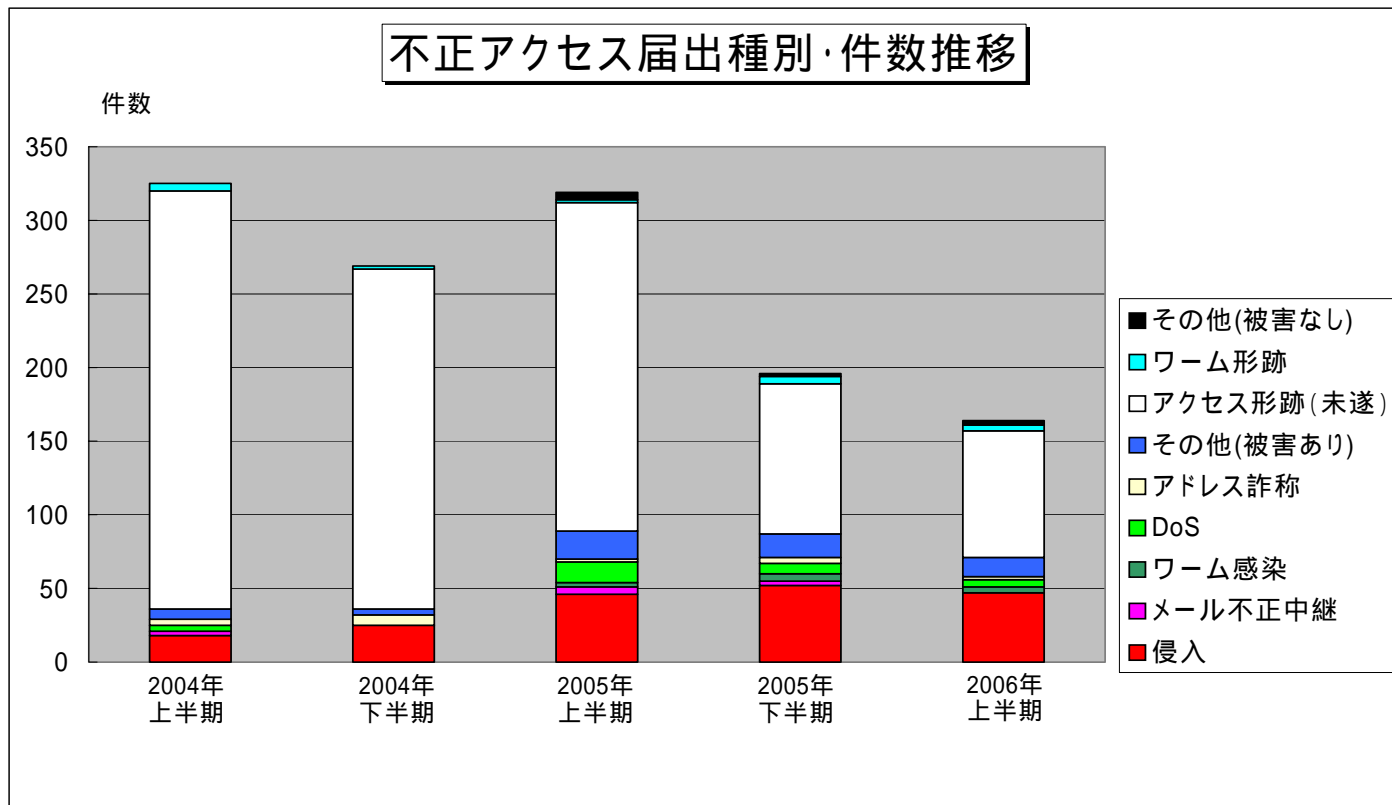
2006年上半期(1月～6月)の届出件数は合計164件となり、先期に比べ届出総数は約16%の減少、被害にあった件数の割合は約18%の減少となりました。



注) グラフ中の()表示は、届出総数のうち被害があった件数を示しています。

2.届出種別

IPAに届けられた164件のうち、不正なアクセス形跡を発見した「**アクセス形跡(未遂)**」の届出が**86件(先期102件)**と全体の52.4%を占めました。また、実際に被害があった届出は71件(先期87件)と全体の43.3%を占めました。実際に被害に遭った届出とは「侵入」「ワーム感染」「アドレス詐称」「メール不正中継」「DoS」「その他(被害あり)」の合計です。



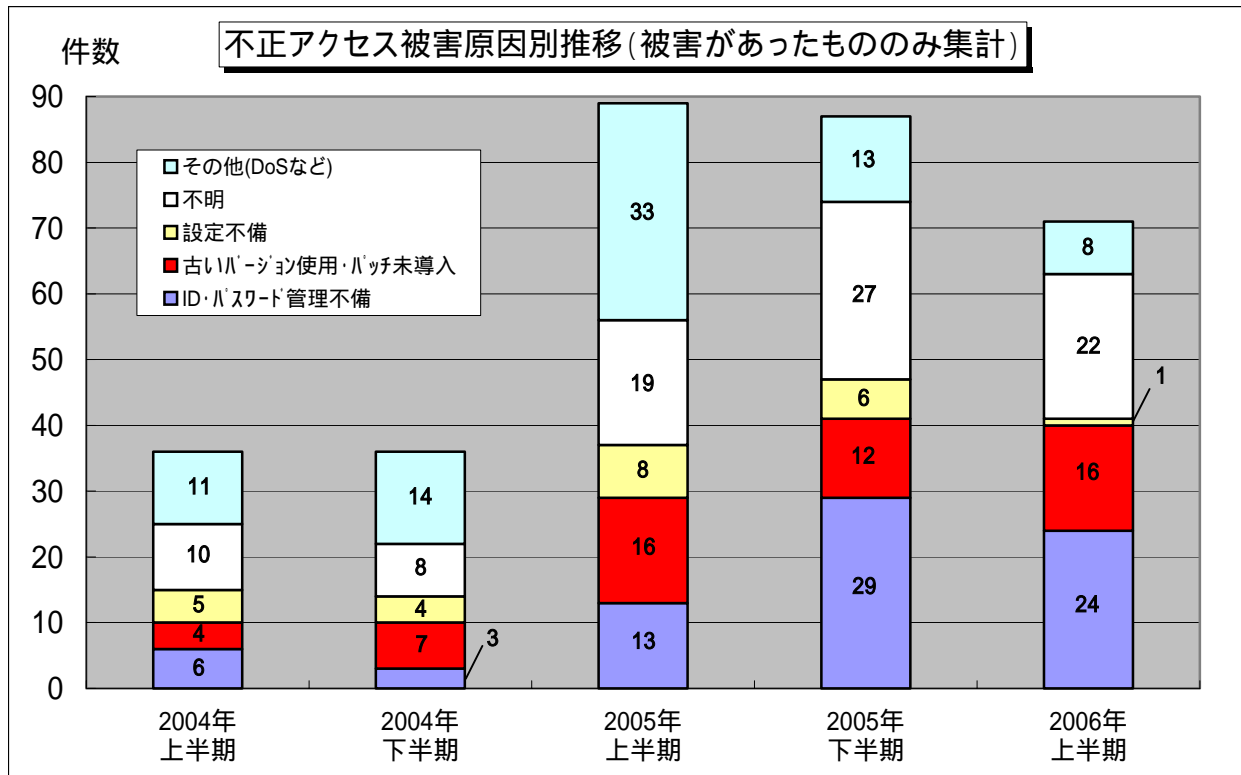
	2004年 上半期		2004年 下半期		2005年 上半期		2005年 下半期		2006年 上半期	
侵入	18	5.5%	25	9.3%	46	14.4%	52	26.5%	47	28.7%
メール不正中継	3	0.9%	0	0.0%	5	1.6%	3	1.5%	0	0.0%
ワーム感染	0	0.0%	0	0.0%	3	0.9%	5	2.6%	4	2.4%
DoS	4	1.2%	0	0.0%	14	4.4%	7	3.6%	5	3.0%
アドレス詐称	4	1.2%	7	2.6%	2	0.6%	4	2.0%	2	1.2%
その他(被害あり)	7	2.2%	4	1.5%	19	6.0%	16	8.2%	13	7.9%
アクセス形跡(未遂)	284	87.4%	231	85.9%	223	69.9%	102	52.0%	86	52.4%
ワーム形跡	5	1.5%	2	0.7%	2	0.6%	5	2.6%	4	2.4%
その他(被害なし)	0	0.0%	0	0.0%	5	1.6%	2	1.0%	3	1.8%
合計(件)	325		269		319		196		164	

注) 網掛け部分は、**被害があった**届出種類を示しています。

割合の数字は小数点第二位を四捨五入していますので、合計が100%ちょうどにならない場合があります。

3. 被害原因

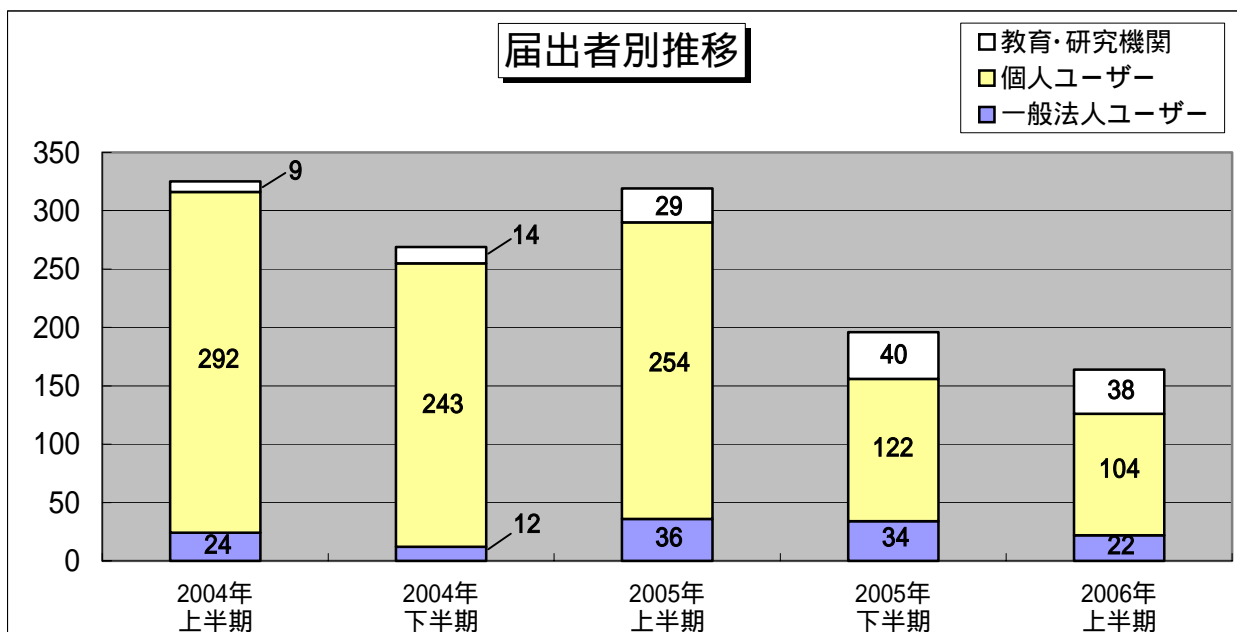
実際に被害があった届出（71件）のうち、原因の内訳はID・パスワード管理不備が24件、古いバージョン使用・パッチ未導入が16件などでした。



注) 被害原因が複数あった届出については、1件の届出につき主たる原因を代表として1件と集計しています。

4. 届出者の分類

届出者別の内訳は、個人が104件（約63%）を占め、依然として高い割合を占めています。



お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター
加賀谷 / 花村 / 宮本

Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7518 E-mail: isec-info@ipa.go.jp